



消防千葉

2017 No.554 平成29年8月号

平成 29 年 8 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



水郷佐原あやめパーク（旧水郷佐原水生植物園）（香取市）香取支部

巻 頭 言

「歴史と文化を守る災害対策強化を目指して」

成田市消防本部 消防長 大谷 昌利



成田市は、千葉県の北部中央に位置し、北は利根川を隔てて茨城県と接し、西は県立自然公園に指定されている印旛沼、東は香取市と接しています。

河川は西側には根木名川、東側には大須賀川が流れ、それらを取り囲むように広大な水田地帯や肥沃な北総台地の畑地帯が広がっています。北部から東部にかけての丘陵地には工業団地やゴルフ場が点在し、南には成田国際空港があります。

この成田国際空港は、現在、航空機発着回数は年間24万回以上、空港旅客数は年間3,900万人を超え、海外108都市、国内17都市の125都市を結ぶ、国際拠点の空港となりました。

一方、街中には、古くから霊場として名高い、成田のお不動さまの名で親しまれる真言宗智山派の大本山成田山新勝寺があり、正月三ケ日には約300万人、年間約1,000万人以上の参拝客が訪れます。近世の貴重な寺院建築として、光明堂、釈迦堂、三重塔、仁王門、額堂の5棟が国の重要文化財に指定され、平成30年は成田山開基1080年の勝縁の年に正当し歴史深く、多くの国内外観光客が訪れ活気あふれる町であります。

成田山新勝寺と成田国際空港を擁し「静」と「動」の2つの顔を併せ持つ国際観光都市の当消防本部は、昭和40年に発足し、平成18年の市町村合併や、香取郡神崎町の消防事務委託を受け、管轄面積約234平方キロメートル、人口約13万9千人の安心安全のため消防職員247名、1本部4署4分署で組織しております。

現在、空港を管轄する三里塚消防署を改築しており、平成30年6月頃の運用開始に向け建築を行っております。

また、当市は国家戦略特区の認定を受け2016年看護学部、2017年4月医学部を開学、今後は附属病院の設置に向け進めており、救急医療体制の充実強化が図れるものと考えています。

そして、国内最多の就航都市数を誇る成田国際空港を擁することから、発着回数の増加に伴う航空機事故や空港利用客の増加に伴うテロ災害が懸念され、2019年のラグビー・ワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなど国際イベントの開催を見据えた、特殊災害やテロ災害への初動対応についても対応能力の機能強化をはかるため、2017年にNBC資機材及び支援車Ⅲ型車両を新たに整備し、2018年に救助工作車を更新、2019年に特別救助隊から高度救助隊に格上げを計画するなど施設整備の充実強化に努めてまいります。

また、市街地の表参道沿いには、木造旅館や飲食店が軒を連ねており、ひとたび火災が発生すれば大規模な火災となることが予想されるため、関係機関との連携訓練や、消防団との連携強化を図っております。あわせて地域住民の期待に応えられるよう、本年4月には、消防団の女性部を発足し、市民の安心・安全の確保に向け研修に取り組んでいます。

今後も「災害に強い町づくり」を目指し、地域防災力の充実と消防防災体制の強化に引き続き、取り組んで参ります。

第53回 市町村消防長・消防団長会議の開催

第53回市町村消防長・消防団長会議が勝浦市の勝浦ホテル三日月で、県下各市町村から消防局長、消防長と消防団長等約150名の出席により7月6日・7日の2日に亘って開催されました。

6日の14時から本年度に新たに就任した消防（局）長16名、消防団長7名の計23名の紹介、小田山消防協会副会長の開会の言葉で始まり、石橋千葉県消防協会長の挨拶、高橋千葉県副知事及び日本消防協会長（代理市橋日消防常務理事）の来賓祝辞の後、淡路消防学校長の来賓紹介並びに千葉県消防協会の役員の小田山、椎名、塚本及び鈴木副会長の紹介を行いました。



挨拶する石橋会長



高橋副知事の祝辞



日本消防協会市橋常務理事の祝辞

その後、東京大学名誉教授の菅原進一講師による「地域防災力の向上を目指して」と題する講演が行われました。

菅原進一講師は、昭和40年東京大学工学部建築学科 卒業、昭和45年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 修了、昭和45年建設省建設研究所 研究員、平成48年東京大学工学部 助教授、平成5年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授、平成15年東京理科大学総研究所 教授／東京大学名誉教授、平成17年東京理科大学大学院総合研究機構火災



講師 菅原進一東京大学名誉教授



科学研究センター長、平成29年日本大学大学院理工学研究科 教授／東京理科大学名誉教授などを歴任され、また、日本建築学会防火委員長、日本火災学会会長、消防審議会会長などの公職でご活躍されております。

地域における防災力とは、教訓となる大火の例、木密地域の火災、最近の火災、防火と防災など詳しく説明して頂き、大変興味深く貴重なものとなりました。

休憩後、石橋協会長の議長により議事進行が行われ、齊藤専務理事から千葉県消防協会の事業計画・主要行事予定等の説明、添谷防災危機管理部消防課長から消防学校・防災研修センターの整理など防災危機管理部の説明が行われました。その後、淡路校長による消防学校の概要説明に続き、市橋日本消防協会常務理事から各共済事業等の説明がなされました。



石橋会長

夜には、横山防災危機管理部長、小高伸太県議会議員（代理）、猿田寿男勝浦市長等の出席を得て、交流会が盛大に行われました。



横山防災危機管理部長



猿田勝浦市長

第53回 千葉県消防操法大会の開催

(平成29年7月22日、於千葉県消防学校)

千葉県と（公財）千葉県消防協会が主催（後援（公財）日本消防協会）する第53回千葉県消防操法大会が、7月22日（土）千葉県消防学校において盛大に開催されました。

大会中は大変暑い天気となり、県内の消防関係者や応援の家族等を含め約2,000名が参加、県内の各支部（10支部）から厳しい予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

会場の消防学校のグラウンドには、各出場チームのテントが立ち並び、必勝祈願の幟旗が翻って、応援団も盛り上がっていました。



入場行進



齋藤総指揮者

午前9時、出場団員の入場行進が始まり、齋藤浩勝香取支部長の総指揮者宣言による整列の後、小田山博史協会副会長の開会のことば、国旗掲揚、殉職者に対する黙とう、表彰旗返還等の後、大会名誉会長森田健作千葉県知事、大会会長石橋毅千葉県消防協会会長から挨拶がありました。



森田千葉県知事



石橋消防協会会長



鈴木県議会副議長

鈴木昌俊県議会副議長、相川堅冶市長会副会長及び岩田利雄町村会会長からの来賓祝辞、倉田消防協会最高名誉顧問等からの祝電披露の後、山武市消防団齋藤猛から出場団員代表宣誓が行われ、消防操法の競技が開始されました。



選手宣誓

各消防団から持ち込まれたポンプ車及び小型ポンプによる操法競技が開始され、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、会場からはそれぞれ自分の団のチームに対し、盛大な歓声が上がっていました。

ポンプ車 操法競技



小型ポンプ 操法競技



競技終了後、休憩時にはアトラクションとして市川市消防音楽隊による演奏が行われました。
また、9月30日秋田市で開催される第23回全国女性消防操法大会に千葉県代表として出場する
柏市女性消防隊の模範演技も披露されました。



市川市消防音楽隊による演奏



柏市女性消防隊

審査の結果は、淡路武夫審査長（千葉県消防学校長）から発表され、それぞれ団体の部、個人の部で栄えある受賞をされました。

成績の一覧は下表のとおりです。

★ 団体の部成績

ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部	
順位	消防団名	順位	消防団名
最優秀賞	山武市消防団	最優秀賞	君津市消防団
優秀賞	浦安市消防団	優秀賞	旭市消防団
優良賞	我孫子市消防団	優良賞	館山市消防団
努力賞	匝瑳市消防団	努力賞	市原市消防団
//	南房総市消防団	//	横芝光町消防団
//	富里市消防団	//	大多喜町消防団
//	袖ヶ浦市消防団	//	野田市消防団
//	いすみ市消防団	//	印西市消防団
//	長生郡市広域市町村圏組合消防団	//	松戸市消防団
//	習志野市消防団	//	神崎町消防団
//	成田市消防団	//	佐倉市消防団
//	香取広域市町村圏事務組合香取市消防団	//	長生郡市広域市町村圏組合消防団

★ 個人の部成績

ポンプ車操法の部			小型ポンプ操法の部		
順位	消防団名	氏名	順位	消防団名	氏名
最優秀指揮者	富里市消防団	吉田 慎吾	最優秀指揮者	君津市消防団	鈴木 浩章
最優秀1番員	南房総市消防団	田仲 悠一	最優秀1番員	横芝光町消防団	大木 健
最優秀2番員	山武市消防団	行木 政品	最優秀2番員	君津市消防団	星野 大助
最優秀3番員	浦安市消防団	加藤 拓哉	最優秀3番員	松戸市消防団	平野 秀
最優秀4番員	浦安市消防団	平野 翔太			



金子裕協会顧問会会長の万歳三唱

第23回 全国女性消防操法大会出場に向けて

平成29年9月30日(土)に秋田市向浜運動場(こまちスタジアム)駐車場で開催される第23回全国女性消防操法大会に「柏市女性消防隊」が千葉県代表として出場することになりました。

私たち柏市女性消防団員は現在、14名のメンバーで半分が主婦、その他は会社員と学生です。

日頃は市民の防災や救命講習会の指導など地域防災活動に積極的に取り組んでいます。

一昨年、10月15日(木)横浜市で開催された全国大会では、第13位となり、惜しくも入賞できず、悔しい思いをしました。

本大会に向けて私たちチーム14名は、今年3月から厳しい強化訓練に臨んでいます。

日頃、積み重ねた訓練を十分に発揮し、「リベンジ」を合言葉にチーム一丸となって優勝を目指します。



- 団 長 小田山 博 史
- 隊 長 北 村 綾 香
- 指揮者 裕 富 由美子
- 1 番員 松 田 香 織
- 2 番員 小 川 友佳織
- 3 番員 藤 原 美 貴
- 4 番員 會 田 順 子
- 補助員 加 藤 朋 美



県民の日ちばワクワクフェスタ2017 ちばのくらしふれあいコーナー参加！



千葉県消防課と（公財）千葉県消防協会では、去る平成29年6月11日（日）、幕張メッセ展示ホールで開催された「県民の日ちばワクワクフェスタ2017」に参加しました。

消防出展ブース「着て、見て、体験！消防団～女性が増えると消防はもっと優しくなる～」では、消防団活性化PRや柏市消防局が作成した女性消防吏員のPR

などのリーフレットを配布するとともに、住宅用火災警報器のPRを行いました。

ブース中央では、淑徳大学の学生消防隊の皆さんにご協力いただき、千葉市消防団の車両を展示し、子供達が消防服を着て記念撮影などを行いました。

また、帝京平成大学の学生消防隊の皆さんの御協力をいただき、救命救急講習として心肺蘇生法体験、AEDの実技訓練を実施し、大変多くのご家族連れの参加をいただきました。

このイベントを通して、消防団活動への参加促進、消防や防災活動に対する理解を深めることができました。



わが町の消防団

銚子市消防団

銚子市は「ほととぎす銚子は、国のとっばずれ」と歌われているように、本州の最東端に位置し、初日の出が一番早く見ることのできる場所でもあります。全国屈指の水揚げ量を誇る銚子漁港は、平成23年から6年連続で水揚げ量全国1位となりました。また、「夏涼しく、冬暖かい」穏やかな気候を活かした農業も盛んで、銚子ブランドの「灯台キャベツ」は、春キャベツ生産量全国1位を誇っています。歴史と伝統を実感できる醤油工場もあり、多くの地域資源に恵まれた魅力あふれるまちです。



銚子市消防団は現在、団本部と10分団37部（条例定数579名）で構成され、多機能型消防自動車1台、消防ポンプ自動車18台、小型動力ポンプ付積載車19台を保有し、521名が活動しています。



三方を水に囲まれた銚子市は昔から津波による被害を経験、平成23年の東日本大震災でも最大2.5mの津波が襲来し人的被害（重傷者3名、軽傷者17名）、住家被害（全壊30棟・半壊148棟・一部損壊2,424棟、床上浸水11棟）等がありました。警報発令後、消防団員は不安を感じていた住民の方々を避難所へ誘導するとともに、停電した避難所では投光器を使用して照明の確保や、毛布、非常食の配布等も行い避難所の運営に協力しました。

全国的に消防団員の減少が懸念されている中、銚子市

でも団員の確保が課題となっています。そのような中、平成27年9月に女性と学生団員からなる第11分団を立ち上げ、地域防災に関わる住民などへ防火啓発活動など積極的に取り組んでいます。平成28年度より計画的に活動を開始、操法大会や救急フェアなどでは、市民の皆さんに消火器の取扱い指導を行い、女性や学生が活動していることを多くの方が認識し、消防団の活動についてもPRすることができました。11月には学生団員からの発案で、昔ながらの拍子木を使って「火の用心」と連呼する夜警活動を行い、住民の方からは「ありがとう」「ガンバッテ」という声を頂き、何よりの励みになりました。



地震イコール津波との認識から、毎年消防団が行っている津波対応訓練の中では、避難所までの避難誘導経路の確認、負傷者の搬送訓練などを担当し、女性ならではのきめ細かい心遣いや、学生の体力を生かした活動を行いました。



消防本部・消防署庁舎が新築され、消防団本部も平成29年1月24日旧庁舎より移転し、新たな施設での業務を開始しています。これまでは、訓練環境が整わない中での訓練、研修でしたが、今回は機関員講習も新しい訓練施設において実施、災害対応力の強化に努めてまいります。

今後も引き続き、自らの地域は自らが守るとの精神に基づき、災害に強いまち銚子を目指してまいります。

東 西 南 北

東 西 南 北 商店街との火の用心 ～協定締結式を行いました～ 千葉市消防局

千葉市消防局は、昨年度に引き続き「地域における建物の防火安全性の向上事業」について、千葉市中央地区商店街協議会との協定を締結し、JR千葉駅周辺の繁華街を“火事のない安全なまち”にするための市民協働事業を行っています。

本事業は、消防法令の繰り返し違反が多数存在する中、繁華街の建物で働く人たち自らが防火の意識を持ち、建物内部から消防法令を遵守するという気運を作り出していくことで、地域の防火安全性及び防災力を向上させることを目的としており、平成28年度は、防火推進員養成講座を2度開催し、防火・防犯パトロールを延べ40回(209人参加)行いました。



東 西 南 北 瓦礫救助訓練施設開設に伴う救助訓練を実施 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部では、平成29年3月21日に大原消防署において、瓦礫救助訓練施設開設に伴う救助訓練を実施しました。

この訓練施設は、管内の3事業所からコンクリート管等の資器材を寄贈して頂き作成したものです。

当日は、組合管理者や事業所関係者等が参観するなか、今年度事業で新規に導入した指揮車及び更新した救助工作車の披露とあわせて、指揮隊・救助隊・消防隊・救急隊が連携した訓練を行いました。

今後は、この訓練施設を活用し、狭隘空間や震災等を想定した実践的な訓練を重ね、各隊の技術と連携活動の更なる向上を図りたいと考えます。



東 西 南 北 石油コンビナート災害防止連絡会を開催 千葉市消防局

千葉市消防局では、平成29年3月21日(火)、特定事業者、石油パイプライン事業者及び消防機関が、災害情報や対策を共有し、災害の未然防止及び安全対策の向上を図ることを目的として、「平成28年度 石油コンビナート災害防止連絡会」を開催しました。

連絡会では、災害の概要、災害により明らかとなった課題、課題に対する取り組み、取り組みによって改善された事項等を発表していただいたのちに、参加者による活発な情報交換を行いました。

今後も、お互いの情報を共有し、災害・安全に対する意識を高め、災害の未然防止に向け取り組んでいきます。



東 西 救急医療チーム「COMET(コメット)」発足！ 南 北 千葉市消防局

千葉大学医学部附属病院と千葉市消防局は、平成 29 年 3 月 23 日（木）に「災害事故における救急業務の協力に関する協定」を締結し、医師・看護師で構成される救急医療チーム「COMET」を発足させました。

「COMET」は現場に出動した隊員の判断により要請することができ、集団食中毒やイベント会場での事故等で多数の傷病者が発生した場合に、いち早く高度な医療を提供することが可能となります。

※ COMET = Chiba Outreach
Medical Emergency Team



東 西 小金北地区少年消防クラブが総務大臣表彰を受賞 南 北 松戸市大金平消防署

小金北地区少年消防クラブは 3 月 25 日、日本消防会館で実施された総務省消防庁主催の優良少年消防クラブ・指導者表彰に参加し、特に優良な少年消防クラブとして総務大臣表彰を受賞した。

同クラブは昭和 57 年 3 月に発足以来、火災予防運動での広報や地元町会が実施する小金北地区総合防災訓練での市民指導及び訓練展示、毎月実施の定期訓練等精力的に活動を続け、地域の防災力向上に貢献してきた功績が高く評価され、受賞にいたりました。



東 西 「成田市消防団女性部」が発足 南 北 成田市消防団

成田市消防団では、女性の力を生かし、地域防災力の向上と消防団の充実強化・活性化を図ることを目的に女性消防団員のみで構成される「女性部」を発足しました。

昨秋から公募を開始し、23 歳から 48 歳までの 11 名の応募があり、平成 29 年 4 月 15 日（土）に発足式が行われました。

小泉市長・大木成田市消防委員長の同席の下、村島消防団長から一人ひとりに辞令が交付され、訓示の後、女性部岩本部長が宣誓を行いました。

今後は、応急手当の指導、火災予防啓発活動、各種訓練・行事等に参加し、大規模災害時には救急救護活動、避難誘導を実施できるよう訓練を重ねていきます。



中央消防署宮崎出張所完成披露会を開催 千葉市消防局

千葉市消防局では、平成29年4月20日（木）中央消防署宮崎出張所の建替え工事が完了したため、完成披露会を開催しました。

宮崎出張所は、“市内初”の「女性用施設及び72時間稼働可能な自家用発電設備を持つ消防出張所」になります。

消防庁舎は災害応急対策の消防拠点施設となることから、老朽化した消防出張所の建替えを行うことにより、消防活動体制の充実強化を図り、市民の安全安心を確保していきます。



松戸市消防局職場改善推進研修会 松戸市消防局

消防行政の自浄作用及び法令遵守の推進を目的に、松戸市消防局職場改善推進研修会を実施しました。職場の問題について職員間で早期解決できるよう、内部公益通報を含む職場相談制度等の周知を図りました。個人の悩みに対する適切な相談先の再確認や公益通報者保護法に基づく内部公益通報制度についての研修です。また、若手職員を研修担当とし、相談することへの敷居を下げる効果



とともに職員の育成を目指しました。

各所属の管理職と若手職員を対象としました。2日間で90名が参加し、職場改善推進の一助となりました。研修後のアンケートにより制度周知について課題が見られたため、松戸市消防局では、課題の解決を図るとともによりよい相談環境作りを推進していきます。



船橋市新規採用職員に対する救命講習を開催 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成29年5月17日（水）から19日（金）までの3日間、船橋市新規採用職員89名に対し、普通救命講習を開催しました。

この講習は、市職員が救命手当の必要な事態に直面した時、直ちに対応できるよう、平成13年度から開催され、講習修了者は5000人を超えています。

受講者は救命連鎖の重要性を認識し、質の高い心肺蘇生法と迅速で確実なAEDの使用法を修得いたしました。

今後とも市民が安心して暮らせる環境を整えるために、市職員に対する普及啓発活動を継続してまいります。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 29年 8月

- 9日 千葉県石油コンビナート等防災訓練
- 22日 平成 29 年度防火・防災ポスター展（千葉市）
- 26日 九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練（匝瑳市）



平成29年度 全国統一防火標語
「火の用心 ことばを形に 習慣に」

平成29年度
夏の交通安全運動
 7月10日(月)から7月19日(水)
 スローガン
～ まだ行ける 渡れそうでも 待つゆとり ～

<表紙の説明>

水郷佐原あやめパーク（旧水郷佐原水生植物園）（香取市）香取支部

千葉県と茨城県にまたがる水郷筑波国定公園内に位置する旧水郷佐原水生植物園は、平成29年4月29日に「水郷佐原あやめパーク」としてリニューアルオープンしました。水郷をイメージした園内は、サップ舟と呼ばれる小舟に乗って巡ることもできます。

昭和44年に当時の佐原市により佐原市立水生植物園として開園してから、市町村合併に伴い水郷佐原水生植物園と改称した後も多くの来園者に親しまれてきましたが、平成23年に発生した東日本大震災により、液状化現象などによる甚大な被害が発生しました。

その後営業を継続しつつも長期にわたり再整備を実施し、今年4月に新たな遊園施設等も備えてのリニューアルオープンとなりました。

